

あつぎ市議会だより

第216号 発行日/平成25年5月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

2月定例会

平成25年度予算など40議案を可決

予算総額1313億円、一般会計は714億円 一般質問 21人が安心安全・まちづくりなどを論議

2月定例会は、2月22日から3月21日までの会期28日間で開催されました。

市長から初日・第2日に提出された議案は、専決処分の承認や工事請負契約の締結、市道路線の廃止・認定、平成24年度一般会計補正予算のほか、条例の制定・改正・廃止、平成25年度一般会計予算など33議案です。このうち初日に採決し、承認した「専決処分の承認を求めることについて」を除く32議案は、初日・第2日の質疑終了後、上程された陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

本会議第2日・第3日には、議員から「厚木市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について」など議案3件が追加提

出され、いずれも可決しました。

本会議第3日から第5日までの3日間、議員21人が登壇し、一般質問が行われました。

本会議第5日には、市長から平成24年度厚木市一般会計補正予算など2議案が追加提出され、所管の常任委員会に付託されました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された案件に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、各常任委員長の審査結果報告の後、6会派による討論が行われ、採決の結果、全議案を原案どおり可決しました。

さらに、市長から「公平委員会委員の選任について」など議案2件が追加提出され、いずれも同意・可決しました。

専決処分

承認した専決処分議案は、公共用地取得事業特別会計補正予算の1件です。

内容は、厚木環状3号線の用地取得に要する経費を補正する必要が生じ、特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなく、市長が専決処分したことについて、議会の承認を求められたものです。

工事請負契約

契約の目的（仮称）あつぎ元気館整備事業に

補正予算①

可決した補正予算議案は、一般会計と4つの特別会計です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、国の予備費を財源とした国庫補助金を確保したため、平成25年度に予定していた防火水槽の設置、小中学校の校舎や体育館を改修する経費などを増額するほか、84事業について減額するものです。

市道の廃止・認定

可決した市道路線の廃止・認定議案は6件です。内容は、市道再編成事業に伴い、棚沢地内をは

じめ9路線を廃止し、上荻野、飯山、七沢、上落合地内にそれぞれ1路線を認定する議案のほか、開発行為に伴い、妻田東一丁目地内の1路線を廃止し、妻田東一丁目や関口など4カ所にそれぞれ1路線、温水西一丁目地内に2路線を認定するものです。

条例の制定

可決した条例の制定議案は4件です。

「厚木市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定等に関する条例」は、介護保険法の一部改正に伴い、指定地域密着型サービス事業者の指定などについて、必要な事項を定めるため、制定するものです。

「厚木市新型インフルエンザ等対策本部条例」は、新型インフルエンザ等対策特別措置法の制定に伴い、新型インフルエンザ等対策本部について、必要な事項を定めるため、制定するものです。

「厚木市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例」は、河川法の一部改正に伴い、河川管理上必要とされる技術的基準を定めるため、制定するものです。

「厚木市道路の構造の技術的基準等を定める条例」は、道路法など一部の改正に伴い、道路の構造の技術的基準などを定めるため、制定するものです。

例」は、道路法など一部の改正に伴い、道路の構造の技術的基準などを定めるため、制定するものです。

一般廃棄物処理事務委託の協議

「厚木市と愛川町との一般廃棄物の処理に関する事務委託に係る協議について」の議案が提出され、可決しました。

内容は、愛川町の一般廃棄物処理の事務のうち、可燃性一般廃棄物の焼却処理について、厚木市が事務の委託を受けるに当たり、愛川町と協議することについて、議会の議決を求められたものです。

公平委員の選任に同意

公平委員会委員の任期満了に伴い、引き続き、加藤良秋氏（山際）を選任したいとの議案が最終日に市長から提出され、賛成全員で同意しました。

2面下段に続く

主な内容

- ◆一般質問 2～5面
- ◆広報広聴特別委員会 3面
- ◆議会の在り方検討会 3面
- ◆委員会の審査 6・7面
- ◆本会議の審議結果 8面



3月24日に開催された「圏央道あつぎウォーク2013」。圏央道の神奈川県区間は2014年度に全線開通する予定



市政に関する 一般質問 要旨

今定例会では、21人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたずねました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

道路構造物の安全確認はどのようになっているのか

あつぎみらい 沼田 幸一 議員



問 道路構造物の安全確認は、どのようにしているのか。

答 市長 毎日実施している職員による道路パトロールのほか、郵便局や新聞販売所、タクシー協会による情報提供と合わせ、年に2度の一斉パトロールを実施している。

問 歩道と車道間の植栽は、交差点近くまでしなくてはいけないのか。

答 道路部長 交差点付近は視認性が悪いと市民から意見があり、街路樹は刈り込んでいる。今定例会で提案している条例では、交差点から30メートルは植樹帯を設けないことにしている。

●かなちゃん手形見直し
問 ポイント制を導入



してはどうか。

答 市長 高齢者の外出機会のより一層の拡大を図るため、ポイントなどの付加価値を付けることは有効な手段の一つであり、今後研究したい。

消防資機材の配置

問 山沿いや川沿いを受け持つ消防署や消防団には、どのような資機材を配置しているのか。

答 消防長 山林火災用の背負い式の連結水のうや救命ボート、救命胴衣など、山間地域や河川地域それぞれに適した各種資機材を整備している。

荻野運動公園の賃借料は高すぎないか

改革あつぎ 徳間 和男 議員



問 荻野運動公園の賃借料は、周辺の評価と比較し、極端に高くないか。

答 河川みどり部長 平成22年度、不動産鑑定

士により単価を算出している。用地を買収できる段階になったら、再度単価を設定したい。

問 手続きの必要がな



休日には、スポーツに親しむ人や家族連れでにぎわう荻野運動公園

救急車の利用状況の現状と対応は

あつぎ市民の党 奈良 握 議員



問 救急車の利用状況の現状と対応は。

答 消防長 救急搬送の中には、救急車に乗れば待たずに受診できる、無料で病院に行けるなどのほか、便秘など普通の人が考えても通報しないような内容もある。現場で緊急性がないと判断した場合は、本人や家族にタクシーなどを使うよう

説得している。

●秘書業務の外部委託

問 公務員でなくても構わないのではないか。

答 市長 毎日秘書課の様子を見る中では、さまざまな配慮も含めて、懸命な努力をし、対応していると感じている。より高度な守秘義務が求められるため委託化に

いものを予算書に載せた場合、その予算は有効か。

答 財務部長 通常、土地の賃借料に関しては、長期継続契約で対応することが多い。必要性があり予算書に載せている。

問 必要のない債務負担行為を、予算書に載せることについてはどうか。

答 財務部長 内部で議論し検討していきたい。

●職員の給与

問 税収に連動させるべきである。このことが全国的に芽生えていると感じたことはないか。

答 総務部長 給与システムは人事院勧告が原則で、できる範囲で削減していると考えている。

問 年間400万円分の時間外勤務をする職員がいる。健康に問題はないか。

答 総務部長 1カ月の時間外勤務が80時間を超えた場合、人事担当でヒアリングを実施し、是正の指導をしている。

後、行政改革の中で委託化なども検討すべきであると認識している。

●男女共同参画

問 推進の状況は。

答 市長 男女が互いに人権を尊重し、個性などを十分に発揮できる男女共同参画の推進には、講座や講演会の開催など、性別にとらわれず意識啓発に努めてきた。男女共同参画市民意識調査では、共同参画の意識が向上しており、一定の成果があったと認識している。

1面から続く

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は7件です。

「厚木市職員の給与に関する条例」の主な改正内容は、本市の財政状況などを踏まえ、職員の給与を減額するため、改正するものです。

「厚木市介護保険条例」の主な改正内容は、厚木市行政手続条例の適用について、厚木市市税条例に準じ改めるため、改正するものです。

「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」の主な改正内容は、新たに戦略産業を定めるとともに、戦略産業の立地に係る奨励措置を定めるほか、所要の措置を講じるため、改正するものです。

このほか、法律や政令などの一部改正に伴い、「厚木市職員の退職手当に関する条例」「厚木市国民健康保険条例(2件)」「厚木市下水道条例」及び厚木市都市公園条例」を改正するものです。

条例の廃止

可決した条例の廃止議案は2件です。

「厚木市公共施設整備基金条例」は、都市施設や教育施設などの整備を図るため設置した公共施設整備基金が所期の目的を達成したこと、同

基金を廃止するため、条例を廃止するものです。

「厚木市立七沢弁天の森キャンプ場条例」は、青少年の健全な育成を図るため設置した七沢弁天の森キャンプ場が所期の目的を達成したこと、同キャンプ場を廃止するため、条例を廃止するものです。

平成25年度予算

一般会計は737億8千万円で、対前年度比0.2%の増額となりました。また、特別会計と公営企業会計を合わせた予算総額は13337億1286万2千円で、平成24年度当初予算と比較して6%の増額になりました(7面参照)。

補正予算②

追加提出され、可決した補正予算議案は、平成24年度および25年度の一般会計です。

平成24年度一般会計補正の主な歳出の内容は、国の補正予算を財源とした国庫支出金を活用し、25年度以降に予定していた小中学校への太陽光発電設備の設置や、公園にトイレなどの機能を持つベンチの設置などを前倒して実施することから、その経費などを増額するものです。

平成25年度一般会計補正の主な歳出の内容は、24年度に事業の一部を前

倒して実施することから、その経費などを減額するものです。

各会計の補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増減額(カッコ内)は次のとおりです。
◇平成24年度一般会計Ⅱ 776億8703万9千円(29億1586万8千円増)
◇平成25年度一般会計Ⅱ 714億4365万4千円(23億3634万6千円減)

議員提出議案

可決した議員提出議案は条例改正など3件です。内容は、地方自治法の一部改正に伴い、「厚木市議会政務調査費の交付に関する条例」「厚木市議会会議規則」「厚木市議会委員会条例」を改正するものです。

会議録の閲覧を!

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができるまでの間は、インターネット議会中継(録画放映)もご覧になれます。

会派の名称変更

みんなの党から会派異動届が提出され、2月21日付で、会派名が「新政会」に変更されました。

厚木市立保育所民営化基本計画 (案)の保護者説明会での声は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 保護者対象の説明会では、どのような声があったか。

答 こども未来部長 移管先の選定や引き継ぎなどのほか、一番多かったのは民営化により運営主体が変わることでの子どもへの影響を心配する声であった。

問 民営化を行うと130人定員の所では年間30人定員の所では年間

7300万円浮くが、実際に使うのか。

答 こども未来部長 民営化による財政効果額をどう使うか明確に言うのは難しい。子育て施策全体で捉えていきたい。

問 現制度での受給者で、基準引き下げにより受けられなくなるのはどれくらいいるのか。

子育て応援 泉 修議員



問 管理の手法は。

答 市長 各施設において管理台帳を整備し、市民の皆さまが安全で快適に利用していただけるよう、適切な管理に努めている。

●災害対策
問 東日本大震災以降の強化状況は。

答 市長 東日本大震災を踏まえ、防災力をより一層高めるため、地域防災計画の見直しをした。平成24年度は、防災セミナーや講話などで、自助、共助の大切さを周知するとともに、防災行政無線の子局を10基新設し、難聴地域の解消に努めた。また、荻野運動公園内には大型防災備蓄倉庫を建設し、必要な備蓄品の拡充を推進するとともに、

答 福祉部長 受給されてきた方が、受給できなくなる場合や、新たに受給できる場合がある。個々のケースにより異なるため予測がつかない。

●自治会館等の耐震診断
問 耐震診断を要望する所への施策はあるか。

答 市民協働推進部長 自治会などのご意見を伺い研究していきたい。

問 マンションの耐震診断の補助はできないか。

答 許認可担当部長 先行市などを十分調査し、検討していきたい。

教育の特色は。

答 教育長 特色ある取り組みとしては、国の施策より1つ上の学年までを対象に35人以下学級を編成するほか、学力ステップアップ支援員の派遣や小中一貫教育の推進などにより、確かな学力の向上を図っている。

厚木南公民館移設 建て替えの方向性は

新政会 井上 武議員



問 勤労福祉センターの機能を(仮称)あつぎ元気館に移設して、跡地に厚木南公民館を移設して欲しいという要望があるが、市の見解は。

答 社会教育部長 過去の自治会長と市長とのまちづくりフリートークでも同様の要望があった。市民の皆さまなどのご意見を踏まえ、関係部署と協議して最終的な方

向性を決定したい。

問 厚木南公民館が移設した場合、跡地の一部を地元で使えるスペースとして残して欲しいという要望があるがどうか。

答 政策部長 地域の皆さまの声があることを十分受け止めながら、市民サービスをうまく享受して、地域活動がやりやすい形で検討していきたい。

体罰に関するアンケートで 配慮したことは何か

日本共産党 釘丸 久子議員



問 体罰に関するアンケートで教育委員会として配慮したことは何か。

答 学校教育部長 体罰があるならば原因を明らかにし、根絶に向かうようにしなければいけない。今後の先生の指導の在り方を見直す機会にも

したい。また、先生方のモチベーションを下げたくないということを考えながら行った。

問 今後の活用方法は。

答 学校教育部長 体罰事案があるならば解決しなければならぬし、何よりもそのことにより

公文書管理条例の 制定などの考えは

公明党 川口 仁議員



問 条例の制定と公文書館設置の考えは。

答 市長 公文書の管理をする施設の確保に努めるとともに、その見通しが立った段階で、公文書管理条例などについて研究を進めていく。

●関口・山際地区
問 関口・山際地区における防災公園の進捗状況は。

答 市長 国、県および中日本高速道路株式会社と検討、協議を行っている。早期に設置されるよう積極的に関係機関へ働きかけていく。

●厚木北児童館の再整備
問 郷土資料館が移設した後の敷地が適切ではないか。

答 こども未来部長 児童館は、児童が安心安全かつ気軽に来館でき、また、地域の皆さまから見守られ、児童が健全に育成できる場所が望ましいと考える。今後、中心市街地の公共施設再配置計画が決定されるので検討を進めていきたい。

●温暖化防止の推進
問 スマートシティへの取り組みの現状は。

答 市長 再生可能エネルギーなどの効率的な利用を可能にするためのスマートハウスの普及促進を図っているところであり、今後の研究課題としたい。

傷ついている子どもの心のケアが一番大事である。養護の先生や全小中学校に配置している元気アップアシスタントなどの力を借りながら、子どものケアに当たっていく。また、体罰を行った教員への指導を並行して行う。

●男女共同参画計画
問 成果と課題は。

答 市長 各種講座や講演会の開催など、男女共同参画社会の実現に向けて施策を推進してきた。その結果、男女共同参画市民意識調査では、性別による役割分担意識が薄れるなど、一定の成果があったが、男女の地位の平等感が低いという課題なども見受けられる。

広報広聴 特別委員会から

全国の市町村議会では、質疑と答弁が離れて分かりにくくなっています。厚木市では、20年以上前から「一問一答方式」です。厚木市議会にいたると、それが「当たり前」と思っていることも、他市ではつい最近導入したのです。なにが「改革」なのか、新鮮で深い議論をしていくことが重要ですね。(釘丸久子)

議会運営の在り方など 具体的な内容を検討

議会の在り方検討会

議長からの諮問事項を検討する議会の在り方検討会(川口仁会長)は、昨年10月19日以降、協議を進めています。今回は諮問事項のうち、検討会として方向性が示された事項について、委員の主な意見を紹介します。

●地方自治法改正に伴う検討について(議員定数のあり方)

厚木市議会は、人口や予算規模が小さい時代から、他市に先駆けて定数を減らしてきた。行政が多様化している中で、議会がもつ機能を上げて、市民の意見を吸い上げながら、論議していくのが必要な時期だと思ふ。

●このほかの協議事項は次のとおりです。

●今年議会の実施について

●市議会議員選挙の時期について(市長選挙と同時執行できないか)

●議会基本条例の策定について(必要性並びにその内容)

児童クラブの課題と 取り組み状況は

民主クラブ 古川 環 議員



問 待機児童問題は厚木市においても解消されていないが、児童クラブについて現状と課題は。また、今後の取り組みは。

答 市長 現在、市内23小学校全てにおいて、一時的余裕教室などを用い、公設公営による27児童クラブを運営している。留守家庭児童が増加傾向にあることから入所待機が生じているため、その解消に向けた取り組みが課題となっている。平成25年度は、市内検討委員会を立ち上げ、場所の選定、保育料の在り方スタッフの確保などを議論している。

今後外部委員による組織を設置し、検討を進めていく。



厚木野道路(国道246号)バイパスの取り組みは

あつぎみらい 渡辺 貞雄 議員



問 市民の願いである早期着工への取り組みは。

答 市長 国道246号バイパス建設促進協議会を通じた要望活動はもとより、機会を捉え、事業化区間の早期着工、未事業化区間の事業化に向けた活動を実施する。

問 市東は、関東国道協会神奈川県協議会や道路整備促進期成同盟会神奈川県協議会の会長であるが、本事業を促進する思いは。

答 市長 直接、国土交通省の副大臣などに毎年要望をしている。

●インテリジェント(厚木北・森の里)の土地利用

問 土地利用の方針は。

答 まちづくり計画部



小中学校のいじめ問題」 どのように取り組むか

改革あつぎ 松前 進 議員



問 今後の取り組みは。

答 教育長 各学校では、校内研修会を実施し、早期発見・早期対応に努めるとともに、児童・生徒が主体的にいじめ問題を考える機会を設け、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。教育委員会としても児童・生徒の悩みに応える元氣アップアシスタントの配置など、学校の取り組みを継続的に支援していく。

●環境教育日本一

問 今後の取り組みは。

答 教育長 小学3年生までの少人数学級および市独自の学力・学習状況調査の実施など、教育

保育所民営化により 確保される財源の用途は

民主クラブ 名切 文梨 議員



問 保育所民営化により確保される財源は、子育てのために使うとのことだが、既存の事業に充てることは予算の付け替えとなる。どのように使うのか。

答 ことども未来部長 在宅保育の支援や医療費助成など、子育て関係の予算は増えており、全体を見ながら使っていく。

平成25年度当初予算の 新たな取り組みと改革点は

改革あつぎ 太田 洋 議員



問 平成25年度予算について新たな取り組みと改革点は何か。

答 市長 市民の皆さまと協働で策定したあつぎ元氣プランおよび三大改革を着実に推進するため、創意と工夫を凝らし、市民の健康と暮らしを守ることを第一に、市民サービスの向上を目指して編成した。

第6次厚木市道路整備 五箇年計画の経済効果は

市政クラブ 井上 敏夫 議員



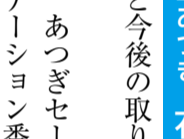
問 第6次厚木市道路整備五箇年計画における経済波及効果を具体的に示すことはできるか。

答 市長 平成20年度から24年度までに幹線道路や生活道路、歩道整備などに総事業費約120億円の市道整備を実施している。

効果としては、交通渋滞の解消や交通利便性の向上、通学路の安全確保などが図られたものと認識しているが、経済波及効果については、計画年度の終了時期を見据え、検証していきたいと考えている。

都市計画における土地 利用

あつぎみらい 難波 達哉 議員



問 行政の主体性は維持されているか。短期・中期・長期の具体的な計画はあるか。

答 市長 あつぎセンターを拠点に、市民安全指導員などによるパトロールや街頭啓発活動を実施し、体感治安の改善を図っているが、客引きなどによる市民の不安感が完全に拭ききれないことと認識している。

今後、市民と警察と連携し、各種パトロール

都市再生緊急整備地域の 経緯と民間活力導入の目標は

あつぎみらい 難波 達哉 議員



問 都市再生緊急整備地域の経緯と民間活力導入の目標は。

答 市街地整備部長 民間活力を導入し、緊急かつ重点的に整備する地域として平成16年に指定を受けた。これまで民間開発の相談はあったが、活用には至っていない。

問 この地域の目的に反してマンションが増えることが、区域の児童数増加の原因ではないか。

答 教育総務部長 この状況でマンション建設がさらに進むとすれば、通学区域や学校の設備も検討しなくてはならない。

小型家電回収の 取り組みの状況は

神奈川ネット 内川 由香子 議員



問 小型家電回収の取り組みの状況は。

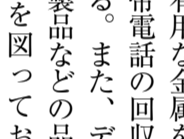
答 市長 環境センターに持ち込まれる小型家電製品のうち、レアメタルなどの有用な金属を多く含む携帯電話の回収を始めている。また、デジタル家電製品などの品目も資源化を図っており、順調に成果が上がっている。

問 有用な資源の回収と障がい者の社会参加の促進を図る「かながわモデル」に取り組む考えは。

答 環境農政部長 小型家電の適正な処理工程、再資源化ルートなどを確認しながら、取り組み手法などについて研究する。

給食費公費化

あつぎみらい 難波 達哉 議員



問 各学年の給食提供回数を全校で統一することとは、校外活動の回数や行き先を制限する可能性がある。現行どおり回数を柔軟に変更できるか。

答 教育総務部長 小学4年生から6年生までは180回の提供回数だが、その中で調整できるため、支障が出ることは想定していない。



ホストコンピュータ 見直しの取り組み状況は

改革あつぎ 高田 浩 議員



問 平成20年9月定例会の本会議で見直しについて提案したが、それ以降の取り組みは。

答 市長 21年度から現行システムの見直し事務を進めた。26年1月の稼働に向け、スムーズな移行の実現に努めている。システム再構築による費用削減の効果は。

答 政策部長 再構築

市街地調整区域内の 人口減少対策は

あつぎみらい 越智 一久 議員



問 玉川地区などの人口減少傾向にある地域において、秦野市のような市街地調整区域の一部に住宅を建てるのができる施策の考えはあるか。

答 まちづくり計画部長 都市マスタープランでは、過疎化が進む地域についてはコミュニティ

●派遣型ワークステーション設置事業

問 事業の効果予測は。

答 市長 本年4月から開始するが、医療現場での実習を通し、救急隊員の資質の向上が図られるとともに、救急現場においても、医療機関との連携による迅速な救命処置により、救命率が向上し、さらなる救急体制の充実、強化が図られると考えている。

高次脳機能障害に対する 正しい認識の周知方法は

公明党 遠藤 浩一 議員



問 高次脳機能障害は人によってさまざまな症状があり、正しい認識が必要である。この障害に特化した職員の講習会や市民への啓発活動など、周知の考えは。

答 福祉部長 特化したものではないが、すべての窓口の職員を対象に精神障害全般に関する研修を実施していく。啓発については、障がい者に福祉サービスを啓発する冊子の中で取り上げる

生活道路および通学路の 安全安心対策は

あつぎみらい 瀧口 慎太郎 議員



問 生活道路および通学路の安全安心対策は。

答 道路部長 生活道路の安全対策としては、路側帯のグリーン舗装やカーブミラー、ガードレールなどを設置している。

問 安全安心に歩行できる道路にするためには、主要幹線道路の渋滞や信号待ちを避けるための通過交通の排除、走行速度の抑制、路上駐車等の適正化や交通弱者への配慮など、さまざまな視点

一般質問 主な質問と答弁

「ゾーン30」規制を開始しているが、本市で取り入れる考えはあるか。

答 道路部長 現在は神奈川県が指定する区域を対象としているため、今後において、厚木警察署などと協議し、対象となる区域があるのか、研究する必要がある。



木曜マーケット! 楽・得ショップの様子 (王子)



子どもたちが安全に通学できるよう路側帯を設置するなどの対策が図られている (旭町)



平成26年春のオープンを目指して、整備が進む（仮称）あつぎ元気館

委員会の審査 ①

条例・補正予算など

—主な質疑と答弁、意見—

条例の制定・改正、平成24年度補正予算などの議案について、各常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○工事請負契約の締結について

問 施工の下請業者や資材の調達について、どのようなチェックをしていくのか。

答 厚木商工会議所と連携し、市内業者との関係を進めることの確認をしている。方法としては、躯体や設備、それぞれの工事の区分に応じて、どのような形で二次、三次の下請業者を使うのか、施工体制図を提出している。ただ、進めている。

問 説明会などで100畳の和室では使いにくい。この意見があったが、和室をどのように活用するのか。また、収蔵資料展示スペースは、一般的な部屋では対応できないが、空調、照明を加味した契約になっているのか。

答 帰宅困難者の受け入れや防災的な機能もある。ある程度大きな和室も必要と考えており、現在の案としては、大きな部屋とふすまなどで仕切れる部屋と同じ規模の和室を2部屋設ける。収蔵資料展示スペースは、契約の中に展示のための専門の設備は含んでおらず、期間を区切つての展示などで活用することによって調整していきたい。

市民福祉

○平成24年度厚木市一般会計補正予算（第7号）所管科目

問 がん検診事業費が見込みより増えた背景は。

答 平成23年度から導入した胃がんの施設検診が定着したことや、肺がん、大腸がん、前立腺がんの受診者数が増えたことが挙げられる。

○厚木市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定等に関する条例について

問 居室の定員を原則1人から4人以下とした場合の利用者や事業者のメリットは。

答 利用者のメリットは、居住費の負担額が1日当たり約3千円から約500円に減額されるため、施設を利用しやすくなる。事業者のメリットとしては、個室より多床室の方が壁などが少なく済むため施設を造るときに建設費が安く済むなど、資金的な面で新規の事業者も参入しやすくなる。また、愛川町、清川村を合わせた搬入量を1日当たり210トン程度と想定しているが、環境センターの処理能力からして問題はないと考える。

環境教育

○厚木市と愛川町との一般廃棄物の処理に関する事務委託に係る協議について

問 環境センターの処理能力に問題はないか。また、「ミッシヨン35」への影響は。

答 厚木市、愛川町、清川村を合わせた搬入量を1日当たり210トン程度と想定しているが、環境センターの処理能力からして問題はないと考える。

友好都市の訪問

市議会では、友好都市の北海道網走市と秋田県横手市に訪問団を派遣し友好交流を図りました。主な内容は次のとおりです。

◆厚木市議会網走市訪問団
2月8日～10日、網走市議会議長表敬訪問、網走市長表敬訪問など。

◆厚木市議会横手市訪問団
2月15・16日、横手市議会議長表敬訪問、横手市長表敬訪問など。

病院特別委員会

2月定例会終了後、厚木市立病院特別委員会が開かれ、執行機関から、厚木市立病院建設工事の進捗状況などについて説明がありました。説明後の委員の主な質疑と執行機関の答弁を紹介します。

問 地中障害物があるということだが、まだ相当な量が入っているのか。また、撤去にどのくらいかかるのか。

答 地中障害物は、県立病院時代の既存くいやガス管、コンクリートガラなどが出土しており、工事スケジュールに大きな影響を与えている。現段階では根切り工事が終了していないため、どれだけの地中障害物が出てくるか想定できず、全容がつかめていない。

問 工事が始まって、患者に迷惑を掛けた主な点は。

答 地中障害物を重機で掘り起こし、コンクリートと土に分ける際に音と振動が出てしまい、注意を受けている。また、事前に解体の連絡をせず、音を立ててしまった際にも病院側から注意を受けた。現在は、毎朝8時25分に作業を行う旨の館内放送をしてから、開始している。

問 地中障害物のほか、医療廃棄物などの有害なものがないことは確かか。

答 病院建設を着手する前に、法律に基づく土壌の汚染調査をしている。既存の建物があるので調査できないポイントもあるが、今のところ土壌汚染に該当するような物質は出ていない。

厚木市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例について

問 恩曾川、善明川、山際川の3河川は全長や川幅、地形が異なるが、それぞれの実情に合ったものになっているか。

答 この3河川については、河川の管理施設の構造などを経験則で整備している。3河川とも特に不具合はないため、国と同じ基準を用いて条例を制定することとした。

厚木市道路の構造の技術的基準を定める条例について

問 既存の歩道は、縁石が高い所やすり付け道路とフラットの所がある。この条例でどのように整備するのか。

答 歩道の勾配規定や見通しの良い交差点づくりなど、バリアフリーで優しい道づくりの基準を設けている。

都市経済

○平成24年度厚木市一般会計補正予算（第7号）所管科目

問 中小企業事業資金

問 舗装をするだけでは目的がなっていない。健康などに関する看板設置の整備などを入札差金で進めてよかったのではないかと考えている。

答 健康・交流のみちづくり事業費減は入札差金というが、どのような整備を進めているか。

答 堤防の天端に舗装を施し、歩行者や自転車の通行のために実施している。

委員会の審査②

新年度予算関係

—主な質疑と答弁—

一般会計、特別会計など、平成25年度予算の議案について、各常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○一般会計予算(所管科目)

問 地域公共交通環境整備事業費の内容は。

答 バス停の上屋を本厚木駅北口の一歩線乗り場と市道のバスベイがある所の2カ所に付ける。特に本厚木駅北口については、かなり長い行列ができ、雨などで不便をきたしている状況や市民の方からの要望などもあるので設置する。

問 設置の優先順位は。

答 利用客が多いことや、本厚木駅に向かう上り線のバス停がどういう範囲で利用されているのかなど、いくつかの要件を照らし合わせて優先順位を付けている。

問 本厚木駅耐震補強事業の工事概要は。また、1年間東口にある商店街が閉鎖されると客の流れや集客にも影響が出てくると思うが、小田急電鉄と協議してきたのか。

答 平成25年度に94カ

市民福祉

○一般会計予算(所管科目)

問 社会的な居場所づくり支援事業費の詳細は。

答 家庭教育環境が生活保護世帯は脆弱であることから、子どもに日常的な学習の習慣を付けるため、中学生の学習を支援していくものである。平成24年度は県のモデル事業という形で、福祉事務所の会議室で夕方5時30分から2時間くらい、NPO法人と職員と一緒にやっている。成果も上がっており、引き続き同様の形で実施していきたい。

問 高齢者バス割引乗車券購入費について、どのように変わるのか。

答 自己負担額が、2千円から3千円に上がることとなる。

問 ほっとタイムサポーター事業について、支援の体制は。

答 1人目から安心して出産できるように体制を整えることを目的としており、妊娠が分かった時点から産後3カ月までの家庭に対し、20時間程度を上限として、ほっとタイムサポーターを派遣する。体制は、子育てア

問 派遣型救急ワークステーションは、どこに設置するのか。

答 東名厚木病院、厚木市立病院、湘南厚木病院の市内3病院に現在使用している救急車を月曜から金曜まで配置する。

○病院事業会計予算

問 「収益的収支及び支出」の支出が上回っている要因は。

答 平成24年度の入院と外来の収益の合計は病院の開設以来、過去最高収益となっている。その実績を踏まえているが、25年度の収入については、外来収益が2億円超の減。また、市の財政状況が厳しい中で、一般会計からの負担金約1億5千万円を減らすこととなった。支出については、26年度の第1期オープンに向けた医師などの確保による給与費の上昇などで、25年度も約4億円の赤字を見込んでいます。収益的には、相当伸びているところがあるので、25年度も今の頑張りを持続できればもう少し赤字が解消されると考えています。

環境教育

○一般会計予算(所管科目)

問 温暖化対策事業で、住宅用太陽光発電システム、ホームエネルギーマネジメントシステム、家庭用蓄電池などを補助対象にした理由は。

答 今までは太陽光発電に特化していたが、日常生活での環境負荷の軽減を図るため、家庭のエネルギーにおける省エ

ネ、創エネ、蓄エネを進める大きな手段として活用される次世代住宅のスマートハウスの普及を目指し、補助の対象とした。

問 小中学校の学校給食施設整備事業費は、北部および南部学校給食センターの建て替えのための調査委託となつている。小学校については、単独調理場の整備が続いているが、今後の計画は。

答 両センターは衛生管理上、必要に応じて補修を行ってきたが、学校給食衛生管理基準に適合しておらず、建設から30数年経過していることもあり、建て替えは急務と

いうことで予算計上している。小学校への単独調理場の整備は、両センターの建設が完了した時点で改めて検討する。

問 教室冷暖房設備設置事業は、小中学校へ冷暖房を設置していく計画だが、今回、中学校のみを設置する理由は。

答 小中学校36校の一括施工は経費の面で難しいため、平成25年度は中学校のみ計上している。中学生は学校にいる時間が長く、受験を控えた学習に集中する時間も要求されているため、先に対応することとした。

問 防災用ベンチ整備事業費は公園に防災用ベンチを整備するということが、自治会への周知は考えているか。

答 整備を予定している61カ所は、一時的な避難所になる公園を選定している。公園を管轄する自治会には、避難訓練などに活用してもらえよう設置前に周知する。

問 実践的防災教育総合支援事業は、どのように進めるのか。

答 小学校23校に学校防災アドバイザーを派遣し、学校防災マニュアルの再点検や、学校の立地に合わせた避難訓練の実施と検証をする予定である。小学校中心ではあるが、中学校にも派遣することを計画している。

都市経済

○一般会計予算(所管科目)

問 飯山地区観光拠点整備事業と七沢地区観光拠点整備事業は、何を実施するのか。

答 飯山地区は、ハイキングコースの安全確保

などのための整備や案内板の設置、桜の広場における桜の植栽を実施する。七沢地区については、清潔で使いやすい常設型のトイレを七沢観光協会が設置するため、その経費の一部として補助金を交付する。今後は、飯山・七沢地区の観光拠点をしっかりと整備し、市内全域を観光客が回遊できるように地域の方々と協働を進めていきたい。

問 (仮称)あつぎ元気館の整備はプロポーザル方式で進めたが、各事業の施工に当たっては、愛市購買の下、事業を進めているか。

答 愛市購買については考慮して、23時20分から翌日の5時30分まで各入り口のシャッターを閉めている。今後は、(仮称)あつぎ元気館の活用時間や人の流れなどを研究し、調整していきたい。

問 地下道の入り口にシャッターを付けて通行止めにしてはいるが、(仮称)あつぎ元気館のオープン後も閉鎖するのか。

答 道路環境の改善ということで、防犯の強化や夜間の照明を消すことを目的に実施した。バスセンターを利用する方の時間帯を考慮して、23時20分から翌日の5時30分まで各入り口のシャッターを閉めている。今後は、(仮称)あつぎ元気館の活用時間や人の流れなどを研究し、調整していきたい。

平成25年度会計別予算

(単位：千円)

会計区分	平成25年度予	平成24年度当初予算	比較増減	対前年度比(%)
一般会計	71,443,654	73,600,000	△2,156,346	97.1
特別会計				
公共用地取得事業	365,847	371,618	△5,771	98.4
後期高齢者医療事業	1,882,000	1,921,000	△39,000	98.0
国民健康保険事業	25,346,000	24,390,000	956,000	103.9
介護保険事業	9,659,000	9,169,000	490,000	105.3
交通災害共済事業	0	1,500	△1,500	皆減
公共下水道事業	5,807,000	5,842,000	△35,000	99.4
計	43,059,847	41,695,118	1,364,729	103.3
公営企業会計				
病院事業	16,873,015	10,899,239	5,973,776	154.8
合計	131,376,516	126,194,357	5,182,159	104.1

※平成25年度予算のうち一般会計は補正後の金額です。
※交通災害共済事業は平成24年度で終了となります。
※病院事業会計は支出予定額です。

本会議の審議結果

Table with columns for '2月定例会提出案件', '各会派の賛否', and '結果'. It lists various council proposals and motions with their respective voting results across different political parties.

◎平成25年2月22・25日および3月1・21日議決時の会派構成など
※議長…神子雅人 (議長は裁決に加わりません)、副議長…寺岡まゆみ
※会派表記、正式名称、議員数、所属議員 (…は代表者)
改革…改革あつぎ (7): 石井芳隆 (議案第1号欠席)、松本樹影、松前進、高田浩、小島一郎 (議員提出議案第2号および第3号欠席)、太田洋、徳間和男
みらい…あつぎみらい (7): 松田則康 (議員提出議案第2号および第3号欠席)、瀧口慎太郎、渡辺真雄、難波達哉、越智一久、神子雅人、沼田幸一
公明党…公明党厚木市議員団 (4): 田上祥子、寺岡まゆみ、遠藤浩一、川口仁 共産党…日本共産党厚木市議員団 (2): 釘丸久子、栗山香代子
市政ク…市政クラブ (2): 石井恒雄、井上敏夫 (陳情第1号退席) 民主ク…民主クラブ (2): 名切文梨 (議案第27号反対)、古川環 市民…あつぎ市民の党 (1): 奈良握
新国会…新国会 (1): 井上武 ネット…神奈川ネットワーク運動 (1): 内川由喜子 子育て…子育て応援 (1): 泉修

第3回 議会報告会を開催
【日時・会場】
5月16日(木) 19時～20時30分 相川公民館 集会室
5月17日(金) 19時～20時30分 ヤングコミュニティセンター 大会議室
5月19日(日) 10時～11時30分 依知北公民館 集会室1・2
5月25日(土) 19時～20時30分 愛甲公民館 集会室・展示室
【内容】
◆議会報告
(1) 2月定例会の概要 (平成25年度予算など)
(2) 議会改革 (これまでの取り組み) など
◆意見交換

6月定例会の開催予定
●本会議
6月3日(月)…議案等質疑
6月7日(金)・10日(月)・11日(火)…一般質問
6月25日(火)…委員長報告・討論・採決
●常任委員会
総務企画…6月13日(木) 市民福祉…6月14日(金)
環境教育…6月17日(月) 都市経済…6月18日(火)
◆特別委員会
厚木市立病院特別委員会
……………6月25日(火) (本会議など終了後)
広報広聴特別委員会
……………6月25日(火) (本会議など終了後)
※開会は、原則として午前9時です。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。